● 広報 おぐに 2007 9
NO.635

シリーズ⑤ おらほのむら

～沼沢の神送り～

8月21日、沼沢地区で、地域の伝統行事である神送りが行われました。神送りは、貧乏神や疫病神を集落から追い出す行事として続けられているものです。太鼓の音を合図に、ちょうちんやロウソクで火を受け継ぎながら、集落の外れまで神を送り、家内安全や無病息災を祈りました。

白い森発

ぐるっと情報局

7/29

不思議な科学の世界へ

山形大学理科じっけん教室

７月29日、山形大学工学部主催による「理科じっけん教室in白い森の国おぐに」が、町民体育館で開催されました。これは、山形大学工学部が、子どもたちの理科や科学への関心を高めるために実施している地域貢献事業の１つで、今回で３回目となります。この日は、万華鏡づくりや静電気モーターづくりなど、工作を交えながら学習できる４種類のメニューが用意されました。子どもたちは、講師のアドバイスを受けながら真剣に取り組み、お互いに完成した作品を見比べ合っていました。

8/1

熱気あふれるみこしの共演

二宮稲荷神社例大祭

二宮稲荷神社（緑町）で、８月１日、恒例の例大祭が行われました。この祭りは、地元のかたがたの熱心な取り組みによって、毎年にぎわいを増しています。この日は、子どもみこしに続いて、中学生、高校生、一般のかたによって、それぞれみこしが担がれました。みこしは、小国駅から会場までをゆっくりと練り歩き、笛や太鼓の囃子とともに、祭りを盛り上げました。

また、高校生のみこしには、小国高校存続を願う黄色いのぼり旗が掲げられ、町民一丸となった存続活動を呼びかけていました。

8/8~31

日本画の魅力を伝える

日本画展～塚原キヨと仲間たち～

８月８日から31日まで、アートギャラリークヴァンツホールで、「日本画展～塚原キヨと仲間たち～」が開催されました。

これは、町内の有志による実行委員会によって主催されたもので、93歳を迎えた塚原キヨさん（舟渡）や、そのお弟子さんたちが描いた日本画約40点を展示したものです。塚原さんは、現役で日本画の指導にあたられているほか、茶道江戸千家教授としても活躍されています。

8/19~ 採りたてをどうぞ
農産物直売所「百笑市場」オープン

おぐに地恵農環（ちえのわ）の会（髙橋悦人会長）による農産物直売所「百笑市場」が、８月19日、道の駅にオープンしました。生産者も消費者も、みんなが笑顔でいられる市場として、降雪期までの毎週日曜日午前10時から、野菜や花などを販売しています。生産者が直接売り場に立ち、商品には生産者名を明示するなど、安心と安全をテーマに展開されています。

百笑市場は、自家用の少量の農産物でも販売ができるため、おぐに地恵農環の会では、農家に加え、一般のかたにも広く協力を呼びかけています。

8/23 幻想的な夏夜のひととき
亀工房コンサート

８月23日、光岳寺（小国小坂町）で、アコースティックギターとハンマー・ダルシマーのデュオ「亀工房」によるコンサートが開催されました。ハンマー・ダルシマーとは、透明感のある音色が特徴の打弦楽器です。

当日は、アイルランドや日本の民謡のほか、オリジナル曲などが演奏されました。亀工房は、1993年の結成以来、国内外で幅広い活動を行っており、「愛・地球博」でも公演しています。集まった80人の聴衆は、境内に響く初めての音色に拍手をおくり、幻想的な夏のひとときを過ごしました。

ー この人に聞く ー
成人式を迎えて

成人式実行委員会
委員長　川上 朋人さん

このたび、私たち、百十三人は成人式を迎えることができました。

私の両親は、昔からいつも忙しく働いていましたが、今、あらためてふり返ってみても、あまり寂しいと感じないまま、大きくなったように思います。よく両親に「自分一人で大きくなったんじゃない。地域の人たちや先生がた、多くの大人のかたがたが見守り、育ててくれたんだ」と言い聞かされてきましたが、今やっと、その言葉の持つ意味が分かってきました。この町に生まれ育ったこと、そして、地域のかたがたに支えられ育ててもらったこと、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、現在は新潟で働いていますが、いずれこの町に帰ってきたいと思っています。私たちを成長させてくれた「小国町」が、いつまでも変わらないことを心から願っています。

羽越水害から四十年

おおみず ―一夜にして町をのむ

現在、町民体育館や総合センターが建つ写真中央部分。当時は農地だったが、ほとんどが流されてしまった

～四十年前の未曾有の災害～

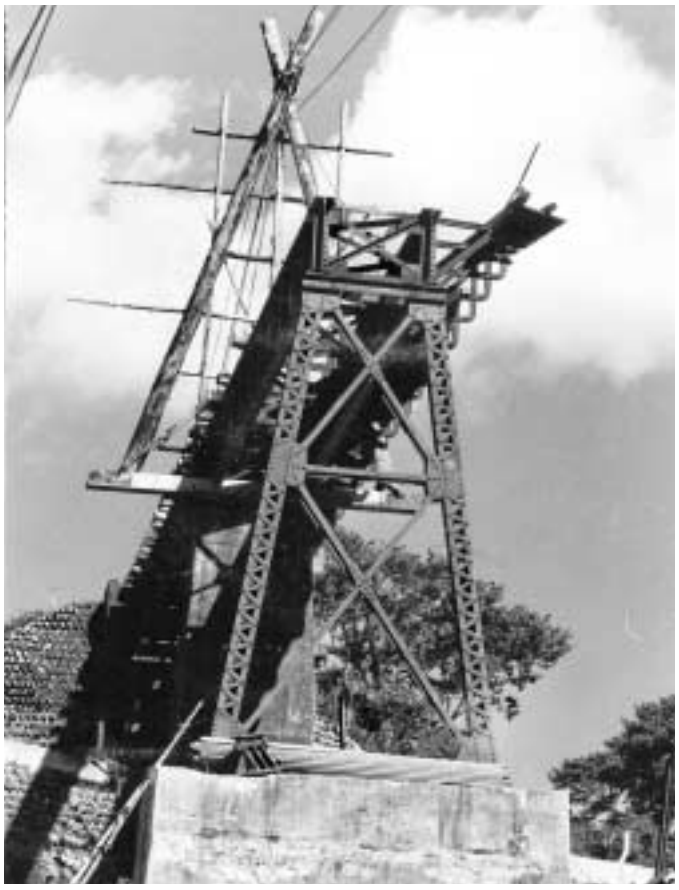
昭和四十二年八月二十八日、山形県南部と新潟県北部に降りはじめた雨は、夕方からみるみる勢いを増し、驚異的な大雨となりました。雨は翌日まで降り続き、日雨量五三二ミリ（最大時間雨量七〇ミリ）に達し、町は一夜にして泥の海となりました。年間降水量の約五分の一が、一晩で降ったことになります。この豪雨によって、町内の全ての河川が氾濫し、至るところで土砂崩れが発生しました。さらに、河川の増水によって、家屋や道路が流されるなど、町は、それまで経験したことのないほどの大きな被害を受けました。

羽越水害から四十年目を迎えた今年、当時の被害状況と復興の足跡をあらためて紹介することにしました。

滝の二重からみた横川

赤芝峡付近でも路肩や護岸が流出

水没した家財道具は道路に出された


線路はアメのように曲がり、米坂線では9つの鉄橋が流出

語り継ぐべき記録

町における羽越水害の被害は、死者二人、重軽傷者二十人、被害金額は七十六億四千万円余り。当時の町一般会計予算の二十数年分が、一晩で流されたことになります。増水して濁流となった河川は、三十九戸の家屋をのみ込み、全半壊・床上・床下浸水を含めた家屋被害は、千百八戸にのぼりました。

被害は、下流域ほど大きくなり、特に新潟県側では土石流が多発しました。これにより、町を含む流域全体では、死者・行方不明者が百人を越え、重軽傷者も多数にのぼり、甚大な被害となりました。

町は、国道一一三号と国鉄米坂線が被害を受けて不通となったことに加え、電話施設なども各地で寸断され、完全に「陸の孤島」となりました。

二十八日の夜に設置された「小国山系集中豪雨災害対策本部」では、暗いうちから、被災者救助が行われ、懸命に災害対策が行われました。

二十九日の午前三時には、町中心部の被災者三百九十人を小国小学校など四カ所に避難誘導し、炊き出しや飲料水の供給が行われています。

また三十日には、初めての救援物資が、日本赤十字社からヘリコプターで届けられたほか、自衛隊と山形新聞・山形放送の協力を得て、無線による通信手段が確保されています。その後、関係機関をはじめ、多くの町民の努力と協力によって、着実に復旧活動が進められました。国道は九月五日に復旧し、鉄道も十日には沼沢まで、十八日には伊佐領まで開通しました。

忘れられぬ記憶

羽越水害から四十年が経過した今でも、被害にあったかたのなかには、大雨のたびに「おおみず」を思い出し、不安にかられるかたがいます。

その一方で、月日の流れとともに、水害を経験していない世代も増えつつあり、当時の水害を経験したかたの記憶を後世に伝えていくことが大

切になってきています。
　かつて、小国大橋の近くに住んでいた穴沢康智さん（岩井沢）は、その時の様子について次のように語ってくれました。
「中学生の私は、旅館をしていた越後屋さんの道路向かいに家族で住んでいました。最も川側の家で、夕方から、横川の水位がどんどん上がってくるのが見えました。
　夜、一階が冠水してきたので、近所の子どもたちと一緒に避難をはじめました。腰ぐらいまで水位があったので、流されないよう、しっかりと手をつないでいたことを覚えています。ずぶぬれの私たちを泊めてくれたのは、当時中央通りにあった長崎屋さんで、着替えに新しい服も提供してもらいました。
　子どもたちが避難し終えたころ、越後屋さんの二階に宿泊客が取り残されているということで、私の親は救助に向かいました。水位は増す一方だったので、命がけの救助だったと聞いています。
　朝、様子を見に行くと、やまと屋さんの鉛筆や消しゴムが散乱していました。二軒隣にあるはずの私の家は丸ごと消えていて、学校の道具、生活用品、電気屋を営んでいた父親の資材など全てが流されていました。水が引いた後、片付ける自宅も無くなった私たちは、近所に泊めてもらいながら、片付けを手伝うしかありませんでした。一方で、父親は今後のことを考える間もなく、すぐに電力の災害復旧に駆り出されました。私たちは、周りのかたに支えてもらい、何とか生活を送ることができました。
　水害は恐ろしいというかたが多いと思いますが、私は単に恐ろしいというより、一瞬の出来事に〝何もできなかった〟という印象の方が、今も心に残っています」

がれきが押し寄せた小国大橋

1階部分が流された越後屋旅館

復興までの道のり

　災害後、町では、交通手段の確保を何よりも優先して進めました。
　米坂線では、九つの鉄橋が流され不通となりましたが、米沢～小国駅間は十一月二十五日に、坂町～玉川口間は四十三年一月に開通しました。全線開通は四十三年六月でした。
　国道では、水害によって赤芝峡付近のほか、至るところで道路や路肩が流されました。これによって、十月、東北地方建設局山形工事事務所の小国国道出張所が開設され、国道の抜本的改築計画が立てられました。建設省直轄での災害復旧が進められ、もともと豪雪と雪崩に悩まされていた赤芝峡の旧国道では、昭和四十六年にかけて改良工事が行われています。この際、横根山トンネル（現・横根トンネル）が新たに掘削され、国道は現在のルートに変更されました。
　旧宇津トンネルは、昭和三十八年に山形県が建設をはじめ、羽越水害の年に完成したものでしたが、災害後、国道一一三号は国の直轄管理として全線二車線の全面改良が進みました。

自衛隊による救援物資の運搬

こうして、町の最優先課題であった「陸の孤島の解消」は、昭和五十年十月、国道一一三号が全面改良されたことで実現されています。

二度と繰り返さぬため

荒川は、昔から名前のとおり「荒れる川」として幾度となく洪水を引き起こしては、流域に被害をもたらしてきました。羽越水害の前年にあたる昭和四十一年にも洪水が発生しています。

国は、羽越水害を契機に、荒川水系の護岸工事や、砂防ダム工事を本格的に進め、土砂災害防止に努めてきています。昭和四十三年四月には、荒川水系が一級河川に指定されました。これに伴い、翌四十四年四月には、北陸地方建設局荒川砂防工事事務所（現・北陸地方整備局飯豊山系砂防事務所）が設置されています。

私たちの暮らしを守るための砂防ダムについて、これまでの取り組みを北陸地方整備局飯豊山系砂防事務所の岡村幸弘所長に伺いました。

飯豊山系砂防事務所
岡村幸弘 所長

昭和四十二年八月二十八日に、百四十二人もの尊い命を奪った「羽越水害」の発生を契機に、飯豊山系砂防事務所は、昭和四十四年より砂防事業に取り組んでいます。

羽越水害では、荒川本川、横川及び玉川の各支川で山腹崩壊や土石流が多発し、甚大な被害をもたらしました。このため、これまでに小国町内において、九十四基の砂防堰堤などを設置してまいりました。しかし、町内には百四十八の土石流危険渓流があり、一定の安全度を確保した渓流は、十三と約一割にとどまっています。これからも、対策が不十分な土石流危険渓流に砂防堰堤を設置するとともに、山形県で指定する土砂災害危険区域に対して、町で整備される警戒避難体制に雨量情報や監視カメラの映像を提供するなど、防災対策への支援を強化してまいります。

砂防ダムの効果を学ぶ土石流模型実験

また、防災教育により、平常時から防災意識の向上を図ることは、災害時に的確な行動をするために非常に重要です。八月十一日には防災教育の一環として、「自然を楽しみながら砂防を学ぼう」を開催したところ、百八十七人の親子が参加し、羽越水害時の被災箇所の見学や土石流模型実験装置による学習のほか、玉川や温身平の自然も満喫されました。今後とも、小学生をはじめとする町民のみなさんの防災意識の向上にも努めてまいります。

より安心できる環境を

平成二年から建設がはじまった横川ダムは、洪水調節を主な目的として、羽越水害規模の大雨にも耐えられるよう設計されています。また、国道とならぶ生命線として期待されている地域高規格道路「新潟山形南部連絡道路」は、現在、荒川町と関川村、南陽市で建設が進んでおり、小国町も調査区間の指定を受け、早期実現に向けた運動が展開されています。

おおみずを経て、町は、大きな変革の時期を迎えました。交通基盤は着実に整備され、国道や鉄道も年間を通して往来できるようになっています。大きな災害でしたが、結果的に、このおおみずが起爆剤となって、町の生活環境などは大きく進歩してきました。

町では、引き続き、関係機関と協力しながら、安全な生活を送るための基盤づくりと、より町民のかたが安心できる環境の実現に取り組んでいきます。

おぐに夏まつり

おぐに夏まつり花火大会が、８月11日、小国中学校グラウンドで開催されました。訪れた約2,500人の観衆は、大輪の花が夜空に咲くたび、大きな歓声をあげていました。また14日には、ふれあいの水辺（赤坂橋下）で岩魚つかみどり大会が行われ、約300人が懸命に魚を追いかけました。

新曲を披露して、祭りに花をそえたおぐに舞波のよさこいソーラン

美しい花火に見入る2,500人の観衆

猛暑のせいもあり、つかみ取り大会では川に入るだけでも気持ちいいという声が聞かれた

N おぐに の夏景色～

イングリッシュ・アドベンチャーでは、英話でスイカ割りにチャレンジ

グループごとにテーマを決めて学習した

英語キャンペーンでは、首都圏の大学生が指導にあたった

イングリッシュ・アドベンチャー

八月一日～二日、イングリッシュ・アドベンチャーが、健康の森横根で開催されました。小学生が対象のこの合宿では、ＡＬＴの指導を受けながら、スイカ割りなどに挑戦しました。これにあわせて、中学・高校生を対象に、ＪＮＳＡ（日本学生協会）基金による英語キャンペーンが同時開催され、約六十人の児童・生徒が英語を学びました。

2007 I
～それぞれ

親しむ

岩手県一関市から来町した東関部屋一行

連日、朝稽古に汗を流す力士たち

大宮子易両神社例大祭で行われた餅まき

夏の安全県民運動の街頭啓発にも一役

中心商店街盆踊り大会では、多くの町民と交流した

稽古の後は、気軽に写真撮影やサインに応じてくれた

元気を分けてくれた福祉施設訪問

東関部屋小国合宿

８月12日から22日までの11日間にわたり、本年も東関部屋小国合宿が行われました。力士たちは、連日、コバレントマテリアル㈱小国事業所相撲場で厳しい朝稽古を行ったにもかかわらず、稽古の疲れも見せずに多くのイベントに積極的に参加し、町に元気を与えてくれました。

サマーキャンプ

深める

健康の森横根で、白い森子ども体験教室「サマーキャンプ」が、八月七日から九日にわたって開催されました。小学三～六年生を対象としたこのキャンプでは、インストラクターによるネイチャーゲームやでべそ山登山などが行われました。このほか、仲間とのテント設営や野外炊飯をとおして、共同生活のルールを学び、きずなを深めました。

力を合わせて取り組んだテント設営

最終日はみんなで笹巻きづくり。上手にできたかな

十月一日から供用開始

小国町斎場が完成しました

施設老朽化に伴い、町が新たに建設を進めてきた小国町斎場が完成しました。新たな斎場は、尊厳と品位を有した施設として整備され、環境にも配慮したデザインとなっています。十月一日から供用開始されます。

《施設内覧会のお知らせ》

■日時　九月二十八日㈮
午前十一時三十分から
午後四時まで

※どなたでも自由にご覧いただけますので、気軽においでください。

◇小国町斎場建物概要◇

事 業 名：小国町斎場整備事業
所 在 地：小国町大字小国小坂町712番地
構　　造：鉄筋コンクリート造一部２階建
施設概要：火葬炉１基、告別ホール、和室など
建築面積：468.63㎡（延べ面積：407.80㎡）
内訳：１階359.21㎡、２階48.59㎡

62年目の誓い
～小国町戦没者追悼式～

８月１日、総合センターで、第43回小国町戦没者追悼式が行われました。戦後62年目を迎えた本年、式に参列した遺族や関係者は、町における戦没者467人の御霊に献花を捧げ、争いによる悲しい思いを二度と繰り返さないよう、平和への誓いを新たにしました。

大人としての自覚を胸に
～小国町成人式～

第59回小国町成人式が、８月14日、総合センターで行われました。式では、新たに成人を迎えた113人（出席者87人）の代表として、木村結衣さん（あけぼの）が「自然があふれる温かい町で育った誇りを胸に、輝く町の創造に貢献していきたい」とあいさつを述べました。

一輪車で県大会優勝
伊佐領小学校

７月29日、酒田市で、さわやか第23回県一輪車競技大会が行われました。県内の小学生約150人が参加したこの大会で、グループ演技の部に出場した伊佐領小学校が見事優勝しました。今回の大会には、小学２～６年生まで８人がエントリーして演技を競いました。初めて大会に出場した２年生の井上美空さんは「去年は応援だったけど、今年は賞をもらってうれしい」と話してくれました。

佐藤二男さんに大臣表彰
民生委員としての活躍を評価

民生委員児童委員の佐藤二男さん（市野沢）が、民生委員制度創設90周年記念厚生労働大臣特別表彰を受賞されました。

佐藤二男さんは、27年間にわたって、小国町民生委員児童委員として、社会奉仕の精神をもって相談援助に携わり、社会福祉の増進に努めてこられ、地域福祉の向上に尽力されるとともに、民生の安定と発展に貢献されています。

安全と安心を食卓へ
食品表示研修会

小国町地産地消推進協議会（小野精一会長）による食品表示研修会が、八月七日、ショッピングセンターアスモで行われました。これは、地産地消の取り組みの一環として行われたものです。

研修会には、町内の農家や、加工・販売に関係するかた三十五人が参加し、産地や原材料の表示方法などが説明されると、メモをとりながら熱心に聞いていました。

町長室から

小国町長　小野精一

本町の産業・生活基盤を崩壊した羽越水害から四十年を迎えました。失意のどん底に陥られても町民は立ち上がり、災害に強いまちづくりに向けた歩みを着実に進め、今日の「白い森の国」を築き上げてきました。

国直轄で整備が進められている砂防事業や完成間近な横川ダムの建設は、荒川沿線の多くの人々の暮らしの安定と地域の発展に大きく寄与する国家プロジェクトです。

横川そして荒川の清き流れを永遠に引き継ぎ、羽越水害を後世に語り継いでいくため、私どもは、それぞれの地域の特性を活かした地域づくりが肝要であると考えます。

四十年の節目を契機に、今後とも沿線市町村との様々な角度からの連携と交流を推進し、荒川郷の二十一世紀を築いてまいります。

皆さんの声をお寄せください
町長室専用メール　shiroimori@town.oguni.yamagata.jp
町長室専用ＦＡＸ　☎62−2611

募集

第48回歩こう会参加者募集

■**日　時**　10月21日(日)
午前8時30分から午後2時
■**コース**　町原稲荷神社と町内回遊コース
■**参加費**（保険料、写真代）
大人五百円、子ども二百円
■**申込期限**　10月5日(金)
■**申込・問合先**　健康福祉課へ

町営住宅入居者募集

■**募集住宅**
小坂町団地3ＤＫ　1戸
■**募集期間**　9月3日(月)～10日(月)
■**対　象**　同居する親族があり住宅に困っているかたで、平成18年度の所得額が月額20万円以下のかた
■**入居時期**　10月上旬
■**家　賃**　所得に応じて決定
■**敷　金**　家賃の三カ月分
■**申込・問合先**　地域整備課へ

森林セラピー健康ウォーク参加者募集

■**日　程**　①9月20日(木)
②10月17日(水)
どちらも、午前8時30分から午後3時まで
■**会　場**　ブナの森温身平ほか
■**内　容**　森林散策、温泉浴、健康食、健康講話
■**対象者**　町民のかたならどなたでも参加できます。ただし1人1回のみとなります。
■**募集人員**　各20人（電話で申し込んでください）
■**参加費**　千五百円（昼食、入浴代）
■**申込期限**　①9月14日(金)
②9月28日(金)
■**申込・問合先**　森林セラピー推進室（産業振興課内）へ

第26回飯豊連峰紅葉ジョギング大会

■**日　時**　10月28日(日)
▼受付　午前9時～9時50分
▼スタート　午前10時30分～
■**場　所**　小玉川小学校周辺
■**コース**　13㎞、5㎞、2㎞、ウォーク&ラン（6・5㎞）
■**参加費**　二千五百円（高校生以下は二千円）
■**申込方法**　町民体育館に準備している申込書に、必要事項を記入のうえ、参加料を添えて大会事務局へ申し込んでください。
■**申込期限**　9月25日(火)
■**申込先・問合先**　〒999−1352　小国町大字岩井沢683−1　飯豊連峰紅葉ジョギング大会事務局（町民体育館内☎62−5421）へ

愛犬しつけ方教室参加者募集

■**日　時**　10月6日(土)
午前9時30分～12時
■**場　所**　最上川河川緑地公園（長井市）
■**内　容**　実技講習、健康相談、トリミング
■**参加要件**
①生後4カ月以上で、日本犬は1歳、その他は3歳までの犬
②登録された犬で、狂犬病と混合ワクチンを1年以内に接種していること
③人や他の動物に対して噛み癖が無いこと
■**募集頭数**　45頭まで（先着順）
■**参加費**　1頭につき千五百円
■**申込方法**　電話で申し込んでください。
■**申込期限**　9月28日(金)
■**申込先・問合先**
平成19年度愛犬しつけ方教室事務局（置賜保健所内☎0238−22−3750）へ

催し

白い森音楽祭

4回目となる今回も、ジャズやロック、吹奏楽まで幅広いジャンルをお楽しみいただけます。当日は食事などの売店もありますので、どうぞご利用ください。
■**日　時**　9月16日(日)
午前11時～午後6時
■**場　所**　白い森交流センターりふれ「能舞台」
■**入場料**　無料
■**その他**　小雨決行で、荒天時はりふれ内での開催を予定しています。またボランティアスタッフも募集していますので、興味があるかたの連絡をお待ちしています。
■**イベント問合先**　白い森音楽祭実行委員会（舟山☎62−2237）／**ボランティア問合先**　おも白い森（本間☎64−2430）へ

つる細工講習会

■**日　時**　9月12日(水)
午前10時から午後2時
■**場　所**　老人福祉センター
■**内　容**　お菓子などを入れる皿を作ります。

■**定　員**　15人
■**受講料**　二千五百円
■**申込方法**　電話で申込んでください。
■**申込期限**　９月７日㈮まで
■**申込・問合先**　老人福祉センター（☎62―2825）へ

チャリティ「カラオケの集い」

■**日　時**　９月16日㈰
午後１時から４時
■**場　所**　総合センター集会室
■**参加費**　千円（老人福祉センター、各地区老人クラブなどでチケットを取り扱っています）
■**その他**　イベントの収益金は福祉団体に寄付されます。
■**問合先**　むつみカラオケ愛好会那須野（☎65―2040）へ

第３回西置賜防災フェスタ

■**日　時**　９月30日㈰
午前９時30分から
■**場　所**　西置賜防災センター（長井市）
■**内　容**　ミニ消防車への試乗、救助訓練実演、地震体験、消火器訓練など
■**参加方法**　当日、どなたでも自由に参加していただけます。
■**問合先**　西置賜防災センター（☎88―1839）へ

おきたま森の感謝祭

■**日　時**　９月29日㈯
午前９時から午後２時
■**場　所**　まほろば古の里歴史公園（高畠町）
■**内　容**　式典、記念植樹、木工クラフト体験など
■**参加方法**　当日、どなたでも参加していただけます。
■**問合先**　おきたま森の感謝祭実行委員会事務局（総合支庁森林整備課内☎0238―35―9053）へ

ご案内

身体障害者無料巡回相談

■**日　時**　９月25日㈫
午後１時から３時30分
■**場　所**　健康管理センター「森のホール」
■**対象者**　18歳以上のかたで
①聴覚、肢体（手足）に障害があり身体障害者手帳の交付を希望するかた
②すでに手帳を持つかたで、障害の程度が変わったかた、補装具交付・修理を受けたいかた
■**内　容**　医師による障害の診断と相談
■**持参するもの**　印鑑（身体障害者手帳、補装具はお持ちのかた）
■**申込・問合先**　健康福祉課へ

排水設備工事責任技術者　県内統一試験

■**日　時**　11月18日㈰
午後１時～午後３時
■**場　所**　ビッグウイング（山形市）
■**申込方法**　地域整備課に申込んでください。
■**申込期限**　10月５日㈮
■**その他**　希望者を対象に、試験前の受験講習会を開催します。
■**申込・問合先**　地域整備課へ

献血にご協力を

■**日　時**　10月４日㈭
▼コバレントマテリアル体育館
午前９時30分から11時30分
▼横川ダム工事事務所駐車場
午後１時30分から４時
■**その他**　午後からは、骨髄バンクドナー登録説明会も同時に開催されます。
■**問合先**　健康福祉課へ

リレーセンター休止のお知らせ

小国リレーセンターでは、計量器検査のため、次のとおり受付を休止します。利用する場合はご注意ください。
■**日　時**　10月１日㈪
午後１時30分から３時30分
■**問合先**　長井クリーンセンター（☎84―6911）へ

就業構造基本調査のお知らせ

平成19年10月１日を基準日として就業構造基本調査を実施します。
就業構造基本調査は、全国から抽出された約45万世帯の15歳以上の方々を対象に、就業の状態に関する調査を行います。
小国町では、北地区、幸町地区、針新地区、舟渡地区にお住まいの方々で『事前依頼はがき』が郵送された世帯を対象に、９月23日から10月１日の間に調査員が対象世帯を訪問し、調査について説明の上、調査票を配布しますので、ご理解とご協力をお願いします。なお、準備調査のため、期間前に調査員が地区内を実査することがあります。
■**問合先**　総務企画課へ

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日　程　9月4日、11日子育て講座「歯科教室」、18日、25日、10月2日

■時　間　午前10時～11時30分

■場　所　健康管理センター

■対象者　0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日程と場所　9月6日、20日　総合センター

9月13日、27日　おぐに保育園

■時　間　午前10時～11時30分

■対象者　0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆タッチケア☆

■日　時　10月5日(金)　午前9時30分～11時30分

■場　所　健康管理センター

■内　容　ベビーマッサージ

■申込期限　10月4日(木)

■対象者　歩く前のお子さんとお家のかた

■問合先　子育て支援センターへ

総合センター図書室から

開館時間　午前9時30分～午後6時

＊＊＊新刊図書＊＊＊

◇鹿男あをによし　万城目　学
◇悪人　吉田　修一
◇戦場で心が壊れて　アレン・ネルソン
◇明智左馬助の恋　加藤　廣
◇自閉症の僕が跳びはねる理由　東田　直樹
◇天地人　火坂　雅志
◇吉原手引草　松井今朝子
◇環境問題はなぜウソがまかり通るのか　武田　邦彦
◇森林セラピーへのいざない　全国林業改良普及協会
◇そのまんま日記　東国原英夫
◇旅の恥はかき捨てですか？　吉門　憲宏
※他多数入荷しました。

今月の休館日：
9月17日（敬老の日）、23日（秋分の日）、毎週月曜日

求人情報

左の表は8月14日現在の新規求人の内容です。無効になっている場合もありますので了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井（☎84－8609）へ

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
小国町介護老人保健施設温身の郷	1人	介護員	不問	8：30～17：15ほか
医療法人社団緑愛会	3人	看護師・準看護士	不問	8：30～17：30ほか
介護老人保健施設かがやきの丘	2人	介護員	不問	7：00～16：00ほか
	1人	調理師	不問	9：00～15：45
合資会社山佐佐藤農機店	2人	営業・販売・整備工	20～40	8：30～17：30
㈲蔵王ストアー	1人	食堂係	不問	8：45～18：00
	1人	レジ係	不問	8：45～18：00
㈲スペースクラブ	1人	事務員	不問	9：00～17：00
遠藤建設㈱	1人	土木施工管理技士	21～40	8：00～17：00
㈱コメリ	20人	販売員	18～35	9：00～18：00ほか
㈲村上警備保障	5人	交通誘導員	18～	8：00～17：00
㈱太陽警備保障	7人	警備員	不問	8：00～17：00ほか
山和建設㈱	2人	土木作業員	18～55	8：00～17：00
	2人	土木施工管理技士	30～50	8：00～17：00
	1人	建築施工管理技士	30～50	8：00～17：00
㈱斉藤建設	3人	一般作業員	不問	8：00～17：00
	2人	土木施工管理技士	不問	8：00～17：00
安部工業㈱	1人	型枠大工	不問	8：00～17：00
	1人	重機オペレーター	不問	8：00～17：00
	1人	一般作業員	不問	8：00～17：00
	1人	一般事務員	不問	8：00～17：00
大河内産業㈲	3人	ダンプ・重機運転士	不問	8：00～17：00
	3人	砂利プラント運転士	不問	8：00～17：00
DoCoDeMoグループ㈲	10人	警備業務	不問	8：00～17：00
㈱ジェイエイサービスおきたま	1人	配送及び給油所業務	18～50	8：00～16：45ほか
㈱石川組	1人	土木作業員	不問	7：30～17：00
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	営業	25～55	9：10～16：50
㈲コンズカンパニー第一ホール小国店	1人	ホールスタッフ	18～45	8：00～17：30ほか
	1人	ホールスタッフ	18～45	8：00～22：30間7時間
猪野電気工事㈱	2人	内・外線工事作業員	18～35	8：00～17：00
㈱横川建設	1人	土木作業員	不問	8：00～17：00
	1人	4tユニック運転手	25～45	8：00～17：00
	3人	営業	35～55	8：00～17：00
	2人	土木施工管理技士	18～55	8：00～17：00
	2人	重機オペレーター	21～55	8：00～17：00
ハイコー㈱	2人	電気工事	18～50	8：00～17：00
ひさご電材㈱小国工場	2人	電気部品製造	不問	8：30～17：30
アクサ生命保険㈱長井営業所	3人	営業	20～59	9：15～17：00
K－PRODUCTS	1人	パソコン業務	不問	9：00～18：00
	1人	自動車販売・整備	不問	8：30～17：30
電興㈱	1人	薬剤師	不問	8：50～17：30
カインドネス㈲おぐに調剤薬局	1人	薬剤師	不問	9：00～18：30
第一生命保険相互会社坂町支部	5人	コンサルタント	25～55	9：00～17：00
㈱井上製作所	6人	マシンオペレーター	18～45	8：30～16：45ほか
小国町森林組合	1人	運転業務	不問	7：30～17：00
	1人	林産業務	不問	7：30～17：00
㈱船山工務店	2人	土木施工管理技士	不問	8：00～17：00
特定非営利活動法人まんまる	1人	援助員	不問	8：30～17：00
アペプランニング	1人	サービス・役務	不問	8：00～17：00
味処藤よし	1人	調理師及び見習い	不問	8：30～22：00
㈱ジャパンクリエイトスタッフ山形営業所	5人	半導体製造	不問	8：30～16：40ほか
㈱CIT仙台営業所	1人	シーケンサプログラム	不問	9：00～18：00
長井郵便局	1人	郵便外務	不問	8：15～17：00
㈲白い森よこね物産品直売所	3人	販売	不問	9：00～18：00間5時間
酒味庵まつばら	1人	接客	不問	17：00～21：00ほか

就業を応援します
マザーズハローワーク

ハローワークプラザやまがたでは、働く母親を応援するため、専用窓口「マザーズハローワーク」を設置しました。お子様連れでも相談しやすい環境を整え、担当者制によるきめ細かい相談を行っていますので、ぜひご利用ください。

■問合先　ハローワークプラザやまがた（山形テルサ内☎023－646－7360）へ

保健カレンダー

■問合先　健康福祉課へ

月日	乳幼児健診	受付時間	対　象	場　所
10/12	3歳児健康診査	12：30～13：00	16年2月～4月生まれ	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
10/19	4カ月児健康診査	13：00～13：15	19年6月生まれ	
	1歳児健康診査		18年10月生まれ	
10/24	ポリオ予防接種	13：00～13：30	19年1月～4月生まれ	

相　談

年金相談

■日　時　9月19日㈬
受　付　9：30～14：30
相　談　10：30～
■場　所　役場町民相談室
■対応者　社会保険事務所職員
■問合先　町民課へ

人権相談

■日　時　9月21日㈮
受　付　10：00～12：00
■場　所　総合センター
■対応者　人権擁護委員
■問合先　町民課へ

山形県弁護士会 多重債務者無料法律相談

■日　時　平日13：30～16：30
■場　所　山形市内の弁護士事務所（対応する弁護士によって異なります）
■申込受付　予約制となりますので事前に申込んでください。
■申込・問合先
山形県弁護士会（☎023－635－3648）へ

犬を飼われているかたへ

あなたのマナーが問われています

●ふんは持ち帰りましょう
●放し飼いはやめましょう
●リードを付けて散歩しましょう
●生後91日以内に登録しましょう
●狂犬病予防注射を忘れずに
●鑑札は必ず付けましょう
■問合先　町民課へ

～年金詐欺事件～ 不審な訪問や電話にご注意を！

社会保険事務所の職員を装い、国民年金未納保険料として、自宅を訪問し、現金をだまし取る事件が山形県内で発生しています。

県内で、国民年金保険料の収納のために訪問するのは、社会保険事務所職員、または国民年金推進員のみであり、その場合は、次の対応をしています。

①身分証を提示すること
②名前を名乗ること
③その場で領収証を発行すること

現金で収めた場合には、必ずその場で領収証を発行してもらうようにしてください。不審な場合は、あらためて身分証の提示を求め、所属と氏名を確認していただき、社会保険事務所までお問い合わせください。

■問合先　米沢社会保険事務所（☎0238－22－4220）へ

私立高校生の保護者のかたへ

◆授業料軽減事業費補助金のお知らせ◆

山形県では、保護者の経済的負担の軽減を図るため、経済的に修学が困難な生徒の授業料減免を行う学校法人に対して、次のとおり補助を行っています。

区分	対象となる世帯	授業料軽減月額
1	生活保護世帯・交通遺児など	15,000
2	市町村民税非課税の世帯	9,000
3	市町村民税均等割の世帯	8,000
4	課税標準額35万円未満（母子家庭）世帯	7,000
5	課税標準額35万円未満（その他）世帯	5,000
6	課税標準額35万円～60万円未満の世帯	3,500
7	課税標準額60万円～80万円未満の世帯	2,500

※申請手続きは、それぞれの学校で保護者が行うこととなりますので、通っている学校に直接確認してください。

■問合先　山形県教育庁教育やまがた振興課（☎023－630－2052）へ

No.635
広報おぐに
2007-9-1
編集発行／小国町役場総務企画課　ホームページ http://www.town.oguniyamagata.jp　携帯電話向けサイト http://www.town.oguniyamagata.jp/m/index.html
〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町二丁目70番地　TEL0238(62)2111(代)　FAX0238(62)5464　印刷／㈱青葉堂印刷

みんなの輪

サークルやスポーツ団体など、グループで活動しているかたがたを紹介していきます。今月は、社交ダンスサークル「ぶらんこ」。

なめらかな重心移動が、優雅なダンスの基本

ぶらんこは、平成３年に水曜会として結成された社交ダンスを楽しむサークルです。平成７年からは、新潟県荒川町のプロダンサーを講師に迎え、月に２回指導に来ていただいています。

社交ダンスというと、資格取得やプロを目指す人もいるのですが、私たちのサークルでは、ダンスを楽しみながら細く長く続けること、そして体力づくりにつなげることを目標として活動しています。そのほか、山形県と新潟県のサークルなどと一緒に、年１回、町民体育館で交流イベントを行っています。

毎月１週目は木曜日、２週目以降は水曜日に、総合センター交流室で練習しています。気軽にはじめられますので、ぜひ参加してみませんか。

編集後記

猛暑が続くなかにもかかわらず、私が顔を出した夏のイベントはどれも盛況。特に花火大会は、お盆近くに延期されたせいもあり、帰省中のかたが多く見られました。そんななか、帰宅中に聞こえてきた甲高い悲鳴。何事かとあたりを見まわすと、少し離れた場所に空を見上げる女性がいました。続いて聞こえてきたのは、「流れ星、生まれて初めて見た」との言葉。きれいな星を見ることができる環境に感謝し、安堵した私も、しばらくの間、夜空に見入っていました。（片桐）

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

緑町	木村 蒼太（そうた）	雅恵 宣
東原	横山 景太朗（けいたろう）	数祐子 弥
東原	今 琉希亜（るきあ）	智奈 孝々也
兵庫舘	鈴木 未来（みく）	和智 也尋
田沢頭	伊藤 亜紗斗（あさと）	孝世 彦栄
小国町	難波 樹（いつき）	千新 裕
若山	舟山 葵（あおい）	俊葉 喜子

結婚おめでとうございます。

関川村	髙橋	正義
小国小坂町	志田	夕子
舟渡	佐藤	剛
東原	清水	優貴
増岡	髙野	嘉晴
針生	木村	真由美
岩井沢	藤井	裕樹
秋田県	佐藤	瑠美子

おくやみ申し上げます。

田沢頭	山口 まさ	(84)
岩井沢	齋藤 もと	(103)
岩井沢	舟山 志ん	(89)
伊佐領	渡部 善樹	(60)
兵庫舘	加藤 廣太	(88)
荒沢	今盛 久男	(78)
岩井沢	平田 ハル	(87)
岩井沢	海老名 末藏	(88)

人口のうごき

人口	男 … 4,636人	（－2）
	女 … 4,896人	（－7）
	計 … 9,532人	（－9）
世帯数	3,273世帯	（－7）
	平成19年７月31日	